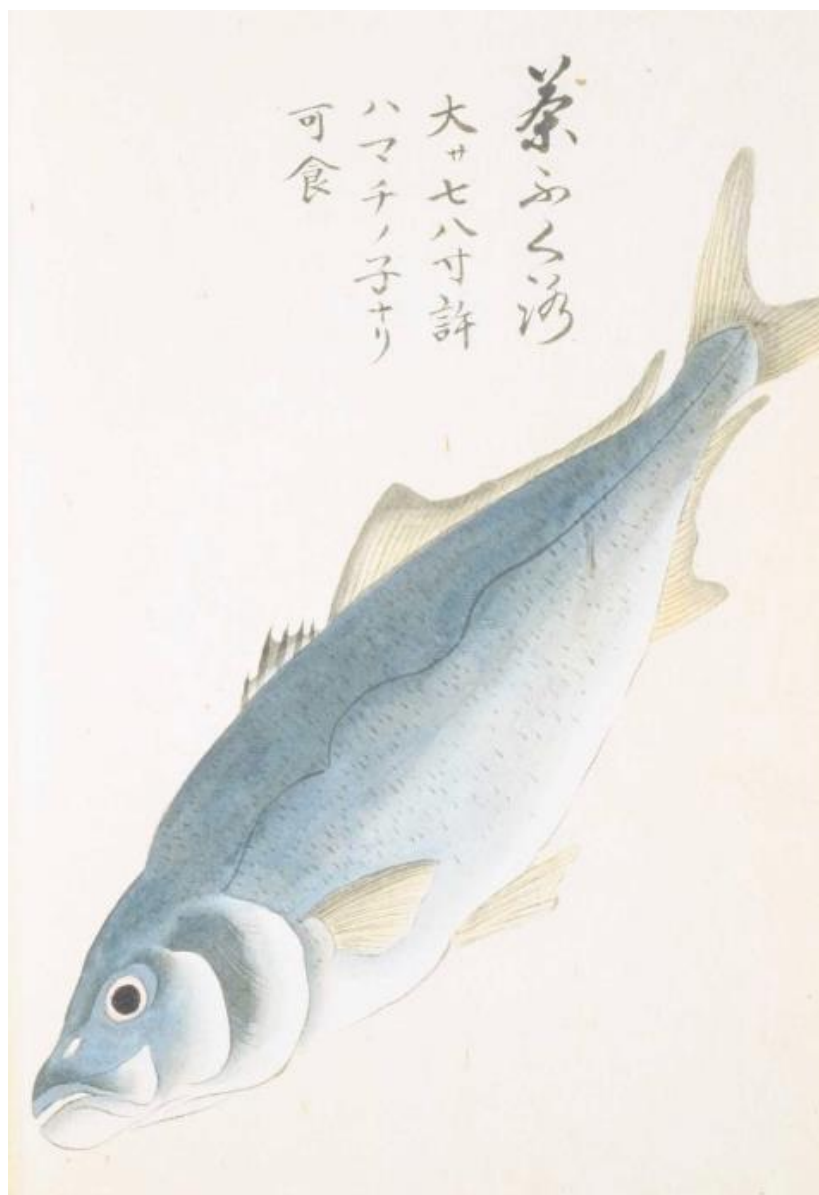


# 楷

第六十三号

岡山大学  
附属図書館報  
OKAYAMA UNIVERSITY  
LIBRARY BULLETIN

KAI  
No.63  
2016  
OCTOBER



<写真>

茶ふくろ  
大サセ八寸許  
ハマチノ子ナリ  
可食

「備前国備中国之内領内産物絵図帳」（岡山大学附属図書館所蔵池田家文庫より）

—目 次—

- 倉敷キャンパスの小さな附属図書館分館  
（資源植物科学研究所分館長 鈴木信弘） ..... p.2
- 教室としてのラーニング commons の可能性  
ー学びを広げ、深める、ラーニング commonsー  
（全学教育・学生支援機構 助教 大崎理乃） ..... p.4
- マスカット ..... p.7  
池田家文庫絵図展のお知らせ、本館 3 階セミナー室の ICT 機器整備、  
アクティブラーニング関連図書コーナー設置 ほか
- 会議・研修・編集委員から ..... p.16

# 倉敷キャンパスの小さな附属図書館分館

鈴木 信弘

## 1. はじめに

岡山大学資源植物科学研究所は、1914年に設立された財団法人大原奨農会農業研究所がその前身となっており、総合大学としての岡山大学より古い歴史（創立102年）を持っています。一方、附属図書館資源植物科学研究所分館（植物研分館）の前身となる農業図書館は7年後に作られ、農学系の図書館として重要な責任を果たしてきております。それは研究所の設立者で、日本のRobert Owenと称される大原孫三郎氏の多額の寄付に始まり、その後の研究所の職員のたゆまない努力によりなされてきたのかと思います。現在は、「ペッフアー文庫」、「大原漢籍文庫」、「大原農書文庫」等の貴重書を含む書籍約19万冊を所蔵しています。「ペッフアー文庫」にはCharles Darwin直筆のサイン入り本（図1）も含まれています。植物研分館の生い立ちや特色についての詳しい説明は歴代の分館長（馬建鋒教授、佐藤和広教授、村田稔教授）の本館報寄稿文（「権」54号、58号、60号）あるいはホームページ（<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/research/library.html>）を参照されたい。ここでは、少し異なる角度から、分館を紹介します。

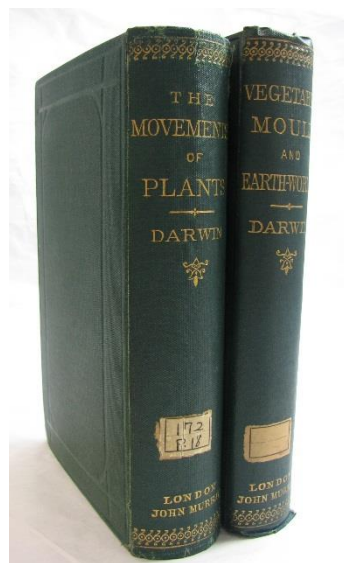


図1 ダーウィン直筆のサイン入り本

## 2. 植物研分館

現在の植物研分館は、延べ床面積1,515m<sup>2</sup>となっています。図2にある史料館と呼ばれる建物（3階建て・植物研教職員・学生が閲覧室を利用、Nature創刊号も所蔵）と、他にも連絡路で繋がっている別棟の雑誌書庫（4階建て）、図書書庫（3階建て）があります。史料館は平成6年に、雑誌書庫は昭和47年に、図書書庫は昭和27年に建てられています。これらをあわせても、植物研分館は中央図書館は勿論、鹿田分館と比較しても小さなこじんまりした佇まいとなっています。常勤職員1名、非常勤職員2名で管理されています。筆者は今年の4月分館長を拝命し、半年になります。大学図書館をとりまく環境が、インターネットの普及に伴う図書・雑誌の電子化や運営費の継続的削減等大きく変化しているのは感じております。それに伴って、植物研分館に対して期待される役割も変わってきており、柔軟に対応して行かなければならないのでしょうか。あれこれと感じていることや、宣伝も兼ねてこれからの活動の一部を紹介させていただきます。



図2 植物研分館 史料館全景

### 3. 雑感

ここ2、3ヶ月の間に米国のバージニア工科大学 (Virginia Tech) (バージニア州、ブラクスバーク市に位置し、工学系が強い州立大学)、ウガンダ共和国のマケレレ (Makerere) 大学 (首都カンパラ市にあるアフリカ最古で東アフリカ諸国の大統領を含む指導者を多数輩出している名門大学)、さらに岡山県立図書館と3つの図書館を訪れる機会がありました。Virginia Techの方は学生で賑わっていました。一方、Makerere 大学は新学期が始まったばかりということで、図書館は閑散としていました。案内してくれた教員、図書館員に「図書館の役割」について尋ねてみました。想定内の答えではありましたが、学生の場合試験の準備、グループディスカッション、教員の場合、静かな環境 (電話、雑用で中断されること無く) での執筆作業、気分転換に使われているとのことでした。岡山県立図書館では、筆者が訪れたのが休日ということもあるのか、開館前というのに数十名が列を作っていました。全国の県立の図書館で最も来館者数、貸出数が多いと言われるだけのことはありました。今、公立の図書館はどこでもそうなのか、県立図書館にネットで申し込んでも、身近の例えば市立図書館から借り受けることも、そこに返却することも



図3 Makerere 大学の図書館内のカフェの案内

もできます。植物研分館と中央図書館の間でも、限定的とは言えそれが可能になりつつあるのは喜ばしいことです。また、我が倉敷キャンパスに無くて、これら3つに共通してあるものに気付かされました。それは、どれも図書館内にカフェを備えていることです。特に Virginia Tech のカフェは立派でした (<http://www.lib.vt.edu/spaces/cafe/>)。Makerere 大学 (図3)、県立図書館のカフェは立派とは言えませんが、飲み物のメニューは充実していました。それでも羨望の眼差しで見学しました。津島キャンパスの中央図書館にもないので、高望みになるかも知れません。しかし、鹿田キャンパスの鹿田分館の改築であらたにカフェができて安らぎ・憩いの場を提供していると伺っております (加藤宣之教授「櫛」59号)。この点は、倉敷キャンパスに籍をおく職員の一部としてせめて、植物研分館でコンビニのような焙煎コーヒーが飲めるようになればと思うこのごろです。

### 4. おわりに

ここ数年植物研分館では、毎年のように特別展を企画し、一般に公開し、好評を博しております (馬建鋒教授「櫛」54号)。今年度も、2017年3月頃に展示を行う計画を進めています。是非、倉敷まで足を伸ばして、ご覧下さい。また、中央図書館で行われているブックハンティングを植物研分館でも始めており、今年は11月頃を予定しています。こちらは、植物研の教職員・学生しか参加資格が認められませんが——。今後も植物研分館へのご支援／ご協力をお願いいたします。

(すずき・のぶひろ 資源植物科学研究所分館長)

# 教室としてのラーニングコモンズの可能性 —学びを広げ、深める、ラーニングコモンズ—

大崎 理乃

## 1. はじめに

ラーニングコモンズでの授業は、私に少しの戸惑いとたくさんの気づきを与えてくれた。本稿の執筆を依頼されたとき、「なぜ、ラーニングコモンズで授業をしたのか」という問いをいただいた。問いを伺ったときには違和感を感じなかったが、良く考えると、授業を設計するときに「なぜ、一般教育棟で授業をするのか?」と問い直す必要もあることに気づかされた。

学習環境が変わると、学びの形や深まりも変わる。本稿では、私の経験から教室としてのラーニングコモンズの可能性を述べる。読者の皆様の、授業検討の参考になれば幸いである。

## 2. 2016年度にラーニングコモンズで実施した授業と利用の動機

私が2016年度にラーニングコモンズ(以下、LC)で主に行ったのは、表1の4科目である。「主体的に学ぶということ」は、学習科学という領域の基礎的内容を学習する科目である。そして「研究入門」は、実際に制作活動を行うものづくり型PBLである。どちらも、1回60分の授業を8回行うことで0.5単位を与える教養科目授業である。

LCを教室として選んだ理由は、(1) 可動機があるのでグループワークが行いやすい、(2) 図書館の中にあり様々な情報へのアクセスがしやすい、(3) ノートパソコンや無線LANなどICT機器が整備されている、という3点であった。

表1 2016年度授業科目

学期	授業名	授業の形式	主な対象
1	主体的に学ぶということ	講義	2年生
1	研究入門	PBL	2年生
2	主体的に学ぶということ	講義	1年生
2	研究入門	PBL	1年生

教室を選んだ後で知った話ではあるが、LCは「大学図書館における学びのための共有スペースであり、多様な活動や学習を支援するサービスを利用できる場の一つ」と定義される<sup>1)</sup>。つまり、私が授業で実現したかった、主体的で深い学び(アクティブ・ラーニング)を促すために、LCは適切な場所であった。



図1 授業の様子(左:主体的に学ぶということ、右:研究入門)

### 3. 実際に授業を行っての感想

授業を行っていて、LCの良さを特に感じたことが二つあった。

一つ目は、学習者の活動把握と指導が、一般教育棟での授業に対して容易になったことである。例えば、一般教育棟で授業を行っていると、移動時間の問題もあって図書館での調査は予習復習に回しがちになる。すると、どのような資料を探しているのかを教師は把握しにくくなる。しかしLCで行った授業では、受講生が持ってきた資料を見ることで受講生の課題への理解度を把握し、指導の方略を立てることができた。

二つ目は、受講生と受講生以外の交流が生まれたことである。私の授業では、講義型でも半分以上の時間でグループワークを行うので、一見すると授業ではなく自習をしているように見える。そのため、授業中に受講生A君の友達が「何してるの?」と声をかけてきて、A君が授業の内容を説明しながら学習事項を考え直す様子も見られた。教師の問いかけよりも強力な、友達からの問いかけで、学習内容を深めることが促されたということである。これは普通の講義棟の教室では実現できなかった学びの形だと、改めてLCの威力を感じた。

一方で残念だったのは、ICTの利用が困難であったことだ。約30名の受講生にノートパソコンから無線LANを用いてWebページにアクセスしてもらおうとしたところ、一般的なWebサイトも開くことができず、途方にくれた。同じ図書館内にある情報実習室を利用することで、授業計画を大幅に変えることは免れたが、これからの学びにはICTの活用が重要になることを考えると、LCとしての今後の改善に期待したい。※1

### 4. 岡山大学附属中央図書館のラーニングコモンズを教室とするときのTips

最後に、LCで私が戸惑ったことを踏まえながら、ささやかなTipsをご紹介します。

(1) 授業前に机を離しておく

グループワークのときに、1グループが5人以上になったり、メンバーが離れて座っていたりすると、活動に差し障りがあることがある。LCは、複数の机が組み合わせられたままになっていることが多いので、授業前に机を離しておく、授業中にグループづくりの調整で時間をとられることが少なくなる。

(2) マイクを準備しておく

時期や時間帯によっては、LCスペース周辺が大変賑やかになり、教師の声が聞き取りづらくなる。必要になるかわからないときでも、カウンターでマイクを借りておくと、周囲が賑やかになったときに速やかに対応ができる。

(3) 配布物は、スケジュール看板近くの机に置いて、可能な限り授業前に配布する

一般教育棟の教室と違い、机の位置が整理されていないため、教師が一人で授業をしていると、配布し忘れるテーブルが生まれることがある。初めから配ることができるものは、スケジュールが貼られている看板近くに机を置いて、各自で配布物をとってから着席するよう促すと、教師の負担や時間のロスが少なくなる。

(4) 班の名前は、ホワイトボードに書く

これも、一般教育棟の教室と違い、机の位置が整理されていないため、「ここから時計回りで、1班、2班…」などと指示しても、受講生に伝わりづらい。正確な机の形ではなくてかまわないので、大まかな机の場所と班の名前は、ホワイトボードに書いて、可視化しておいた方が良い。

## 5. まとめ

本稿では、読者の皆様の授業検討の参考になることを目的に、私が行った授業実践の例をあげながら、ラーニングコモンズを教室として利用することの可能性と、教室として利用する場合の Tips を紹介した。

ラーニングコモンズを教室として利用した際、情報へのアクセスがしやすいという利点から、授業内容から学びを広げることがさらに促さだろうと感じている。また、空間のもつ対話のしやすさが、学びを深めることも促してくれるだろう。

3 項で紹介した受講生と受講生以外の交流には、その後の話がある。友達に質問された受講生 A 君は、他の受講生に色々と確認をしながら友達への授業内容の説明をやり遂げた。「すごいじゃん、お前」友達にそう言われた時の、A 君の嬉しそうな顔を、私は忘れられない。

[1] キーワード・用語解説.日本女性学習財団.<http://www.jawe2011.jp/kaisetsu/>,(参照 2016-09-16)

(おおさき・あやの 全学教育・学生支援機構 助教) ※2

(図書館注)

※1 ラーニングコモンズには、現在同時アクセス 20 のアクセスポイントを設置しています。機種 of 更新等を検討し、今後のサービス向上に取り組んで参ります。

※2 大崎先生は、2016 年 9 月 30 日に岡山大学から産業技術大学院大学へ転出されました。

# マスカット

## 池田家文庫絵図展のお知らせ

池田家文庫は、江戸時代の備前岡山藩の藩政資料を中心とした約 10 万点にものぼるコレクションで、現在は岡山大学附属図書館が保管しています。平成 17 年 3 月には岡山市と岡山大学の間で文化事業協力協定を結び、以後池田家文庫の特徴の一つでもある「絵図」を中心とした展覧会を毎年開催しています。

今回の展覧会では「江戸と岡山藩」をテーマに展示します。参勤交替・江戸藩邸・岡山藩の江戸でのお勤め・江戸図など、岡山藩と江戸との関係がわかる展示となっています。

1. 名 称： 企画展 池田家文庫絵図展「江戸と岡山藩」
2. 会 期： 平成 28 年 10 月 29 日（土）～11 月 13 日（日）（休館日を除く 14 日間）  
[休館日] 10 月 31 日（月）、11 月 7 日（月）  
[開館時間] 10：00～18：00（入場は 17：30 まで）
3. 会 場： 岡山シティミュージアム 4 階 企画展示室  
〒700-0024 岡山市北区駅元町 15-1
4. 入 場 料： 無 料
5. 主 催： 岡山大学附属図書館、岡山シティミュージアム
6. 関連行事：

### [オープニングトーク]

- 日 時 平成 28 年 10 月 29 日（土）10：00～10：30  
会 場 岡山シティミュージアム 4 階 企画展示室  
講 師 岡山大学 特命教授 倉地克直氏  
内 容 企画展 池田家文庫絵図展「江戸と岡山藩」について、この展覧会を監修された倉地克直先生に展覧会場でお話しいたきます。

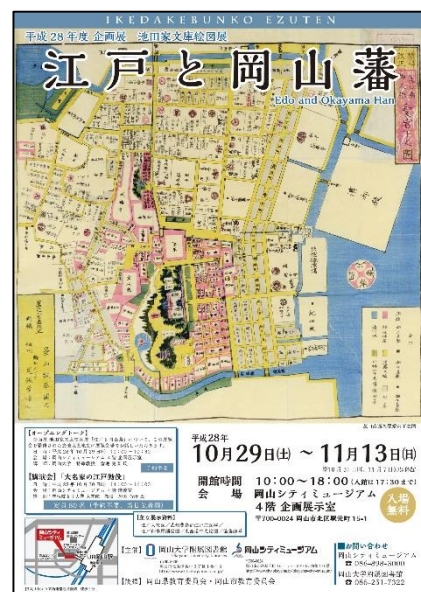
備 考 予約不要

### [講演会]

- 日 時 平成 28 年 10 月 30 日（日）14：00～16：00  
会 場 岡山シティミュージアム 4 階 講義室  
講 師 学習院女子大学 大学院 教授 岩淵令治氏  
演 題 大名家の江戸勤役  
備 考 定員 80 名（予約不要、当日先着順）

7. 主な展示資料：

江戸大絵図  
武州豊島郡江戸庄図写  
江戸御本屋舗絵図  
東西道中之絵図  
備藩邸考



### 本館3階セミナー室のICT機器整備について（中央図書館）

グループ学習やディスカッション、プレゼンテーションなど、アクティブラーニング型授業やイベントに活用できる新たなICT機器を整備しました。

- ・デスクトップPC（Lenovo A740 27型ワイド タッチ対応ディスプレイ） 12台
- ・wivia 3台
- ・BIG PAD 3台

wiviaにより各PCの画面をワイヤレスで、BIG PADに投影できます。BIG PAD1台につき最大4画面まで同時に投影できるため、BIG PAD3台でPC12台の画面を同時に投影することができます。また、投影した画面に書き込みをして画像として保存できます。

お手持ちのPCやスマホにwiviaソフトをインストールし投影することも可能です。

少人数によるグループ討議を複数、同時進行で進めることができますし、最大100人程度の規模の全体討議、プレゼンテーションを一本で行うこともできます。

中央図書館フロアサービスグループまでお申し込みの上、ご活用ください。

### アクティブラーニング関連図書コーナー設置について

中央図書館と鹿田分館ではアクティブラーニング関連図書コーナーを設置しました。

中央図書館では西館1階に、鹿田分館では3階ロビーに設置し、アクティブラーニングについて広く知っていただくための関連資料を集めております。ぜひご利用ください。



中央図書館



鹿田分館

### 平日早朝開館実施報告

中央図書館では、前年度と同様、授業期間中（4月～7月、10月～2月）の平日に早朝開館を実施しています。

4月～7月の早朝開館実施時間（8：00～8：40）の入館者数は、実施日数79日間で合計5,698人となりました。

当館では今年度の後期授業期間にも早朝開館を実施する予定です。



## オープンキャンパス報告

中央図書館および鹿田分館では、平成28年8月5日（金）、6日（土）の2日間、オープンキャンパスの企画として、図書館発見クイズラリー、大学教科書展示、BIGPADを用いた映像展示などを行いました。

クイズラリーは館内を歩きながら、大学図書館についての簡単なクイズに答えてもらいました。中央図書館で5日のみの開催でしたが、全問正解した234名の方に図書館オリジナル付箋をプレゼントし、好評でした。

2日間にご来館いただいた高校生、保護者の方は、中央図書館で4,127名、鹿田分館で501名と、これまでで最多となりました。



映像展示（中央図書館）



大学教科書展示（鹿田分館）

## 知好楽セミナー報告

中央図書館では、平成26年度から、グローバル化時代を生き抜くための「知」と「心」を育む交流をコンセプトとした独自企画「知好楽セミナー」を実施しています。6月には第9回目として、「大坂の陣」連携展記念トークを開催しました。

### 第9回 知好楽セミナー 連携展記念トーク「ミュージアムの舞台裏から」

日時：平成28年6月29日（水） 13:30～15:00

場所：中央図書館 本館2階 サルトフロresta

講師：岡山県立博物館 学芸課主幹 内池英樹氏

林原美術館 学芸課長 浅利尚民氏

第2部司会：岡山大学文学部 准教授 光本順氏

参加者：32名

本セミナーは、岡山県立博物館・林原美術館・岡山大学附属図書館の3館による連携展を記念して開催したものです。第1部は、岡山大学の展示を見ながら、県立博物館、林原美術館のお二人の講師にお話をいただきました。第2部では、お2人がこれまで携わった歴史的発見や展示企画の裏話、学芸員になられるまでの経験談やミュージアムの仕事について、ユーモアたっぷりに語っていただきました。

本学の学生に加え、地域の方も聴講にこられ、つぎることのないエピソードに熱心に聞き入っていました。

### 学生・館長懇談会報告

中央図書館では、平成28年7月6日（水）に、理学部、農学部、工学部所属の学生計8名の参加を得て、今年度1回目の学生館長懇談会を開催しました。

懇談会は年2回開催しており、よりよいサービスの提供を目指して、学生から図書館利用についての意見や要望を直接出してもらうために実施するものです。

この度の懇談会で、学生からは開館時間や空調、図書館利用時にわかりにくかった箇所について改善の要望が出ました。当館からは今年度から導入した4学期制60分授業を受けての図書館利用の変化等を尋ねました。懇談会終了後、学生からの意見を基に、サービス改善に取り組んでおります。

附属図書館では、今後も懇談会で得られる貴重な意見をもとに、よりよいサービス実施に努めます。

### 中央図書館ミニ展示報告

中央図書館本館1Fロビー、本館1Fラーニングコモンズ内の展示スペースで、当館資料を紹介する「ミニ展示」を実施しています。ぜひご覧ください。平成28年2月～8月は下記テーマで実施しました。

- 2月 「バレンタインデー特集」
- 3月 「3.11～震災を考える～」
- 4月 「新学期応援おすすめ本」  
「生協寄贈図書コーナー展示第2回」
- 5月 「G7 サミット教育大臣会合 in 倉敷展示」
- 6月 「シェイクスピア没後400年・夏目漱石没後  
100年記念ミニ展示」
- 7月 「18歳からの選挙」  
「生協寄贈図書コーナー展示第3回」
- 8月 「NASA 木星探査機ジュノー 木星到着記念展示」  
「オープンキャンパスミニ展示 岡大生準備号」



### 岡山大学公開講座「キビ・イズモ・ヤマト 日本古代の王権神話を読み解く」実施報告

日時：平成28年8月26日（金）14：00～16：00

場所：中央図書館本館3階セミナー室

講師：岡山大学社会文化科学研究科教授（副館長） 今津勝紀氏

参加者：99名

『古事記』や『日本書紀』にみえる日本古代の王権にまつわる神話について、キビ・イズモ・ヤマトの交流の実態を背景に解説していただきました。その際、池田家文庫の備中国絵図も使用されました。

## サルトフロresta展示報告

中央図書館本館2階のサルトフロrestaでは各種の展示を行っています。サルトフロresta内イチョウエリアでは学内の研究成果を発表する「知恵の見本市」のポスター展示を実施しています。

また、同じくクスノキエリアの展示スペースでは、学内の資源を使った様々な展示を行っています。具体的な実施内容は以下の通りです。

- ・「絵図にみる岡山城」  
実施期間：平成27年10月27日～12月13日  
展示内容：平成9年度の池田家文庫等貴重資料展「絵図にみる岡山城」のダイジェスト版
- ・「岡大下暮し」  
実施期間：平成27年12月15日～12月22日  
展示内容：博物館学芸員課程の履修学生による岡大内の考古学資源を使った展示
- ・「黒正巖先生と津島キャンパス」  
実施期間：平成28年2月5日～5月9日  
展示内容：岡山大学創設に大いに貢献した黒正巖に関する展示。黒正賞メダル等も展示
- ・「池田家と大坂の陣」  
実施期間：平成28年5月11日～7月26日  
展示内容：両度の大坂の陣において、池田家がどのように関わったかに関する展示  
※大坂の陣を共通テーマにした岡山県立博物館・林原美術館との三館連携展示
- ・「御座船出航！」  
実施期間：平成28年8月23日～10月14日  
展示内容：軸装した御座船の絵図と、その活躍場所である大坂一伏見の関連絵図を展示



「池田家と大坂の陣」



「御座船出航！」

## 資源植物科学研究所一般公開報告

資源植物科学研究所分館では、平成 28 年 8 月 6 日（土）の資源植物科学研究所一般公開のイベントとして、分館所蔵貴重資料の特別展示（テーマは菊）、研究所関係資料（写真・実験器具・年表）の展示、ダーウィン自筆の献辞がある図書等の展示を行いました。

また、クイズラリーの問題を展示物から出題し、来館者には貴重資料の絵はがきをプレゼントしました。

一般公開は研究所の研究内容を紹介するイベントで、3年ぶりの開催でしたが、297 人の方が研究所にご来場くださいました。



## オリエンテーション・データベース講習会実施報告

### ○中央図書館

中央図書館では平成 28 年 4 月～7 月にオリエンテーション等を実施し、延べ 783 名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション、ツアー

実施日	対象	参加人数
4月1日、4月4日	新任教員	10
4月6日～6月8日	新入生	609
4月6日	放送大学学生	11

ガイダンス

実施日	講習会名	参加人数
4月13日～5月19日	図書館・文献検索ガイダンス (教員の依頼により授業・ゼミ等で実施)	63
7月1日、6日、12日	1、2年生からのレポートネタ探し方講座	6
7月5日、6日、15日	良いレポート・論文を書くための情報探索講座	6

データベース講習会

実施日	データベース名	参加人数
6月15日、29日	Biological Abstracts	7
6月15日	Inspec	1
6月17日	Econlit	2
6月20日(2回実施)	Web of Science + EndNote Basic	25
6月22日、23日	SciFinder Web版	34
6月29日	PsycINFO	5
7月14日	JapanKnowledge	4

### ○鹿田分館

鹿田分館では平成 28 年 3 月～8 月にオリエンテーション等を開催し、延べ 571 名の方にご参加いただきました。

#### オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
3 月 10 日	育成プログラム	32
4 月 1 日～4 月 12 日	新入生	355
4 月 1 日	医学科 2 年次編入生	5
4 月 7 日	医歯薬学総合研究科博士課程	30

#### ガイダンス

実施日	講習会名	参加人数
4 月 19 日、26 日	図書館利用ガイダンス	20
4 月 28 日	文献入手講座 (秘書向け)	7

#### データベース講習会

実施日	データベース名	参加人数
4 月 25 日、28 日	Journal Citation Reports + Web of Science	8
6 月 7 日、8 日	UpToDate	86
6 月 13 日	CINAHL	15
6 月 16 日	EBM Reviews	3
6 月 20 日	Web of Science + EndNote Basic	7
7 月 21 日	Web of Science + EndNote Basic、EBMR	1
7 月 26 日	PubMed	1
8 月 2 日	PubMed、医中誌 Web、Cochrane	1

### ○資源植物科学研究所分館

資源植物科学研究所分館では平成 28 年 4 月～6 月にオリエンテーション等を実施し、延べ 131 名の方にご参加いただきました。

#### オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
4 月 4 日	環境生命科学研究所新入生等	4
5 月 10 日	農学部新入生	120

#### データベース講習会

実施日	データベース名	参加人数
6 月 17 日	Biological Abstracts	1
6 月 21 日	Web of Science + EndNote Basic	6

## 教員からの寄贈図書リスト

次の方々から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

<中央図書館>

- 太田仁樹 [社会文化科学研究科]  
論戦マルクス主義理論史研究——岡山大学経済学部, 2016.2 (309.3/O)
- 岡本五郎 [名誉教授]  
岡山のカンキツ、イチジク、その他：栽培と販売・加工の創意  
——岡本五郎, 2015.12 (L625.3/O)
- 岡山大学考古学研究室  
津倉古墳第1次発掘調査概要報告——岡山大学考古学研究室, 2016.2 (611.8/O)
- 尾関 学 [社会文化科学研究科]  
戦前期農村の消費：概念と構造——御茶の水書房, 2015.10 (611.8/O)
- 九鬼康彰 [環境生命科学研究科]  
獣害対策の設計・計画手法：人と野生動物の共生を目指して  
——農林統計出版, 2014.10 (615.86/K)
- 酒井正樹 [名誉教授]  
四季を楽しむ：俳句写真集——リーブル出版, 2015.8 (L625.3/O)
- 武田 穰 [URA]  
Biochemistry & molecular biology of plants——John Wiley & Sons, 2015 (F471.4/B)
- 樋口輝久 [環境生命科学研究科]  
絵図・図面にみる近世・近代の岡山：土木コレクション 2015  
——「土木コレクション 2015 絵図・図面にみる近世・近代の岡山」図録編集委員会,  
2015.9 (L625.3/O)
- 福永信哲 [社会文化科学研究科]  
ジョージ・エリオットの後期小説を読む：キリスト教と科学の葛藤  
——岡山大学経済学部, 2016.3 (335.04/F)
- 古松崇志 [社会文化科学研究科]  
概説中国史 下：近世・近現代——昭和堂, 2016.2 (222.01/G)
- 松田陽一 [社会文化科学研究科]  
チーム医療の活用マネジメントに関するインタビュー調査報告書  
——岡山大学大学院社会文化科学研究科, 2015.10 (F498.1/C)
- 山本 泰 [名誉教授]  
描いて伝えたい美しい日本——リーブル出版, 2015.3 (291.09/Y)  
ここにある守りたい日本——リーブル出版, 2016.2 (291.09/Y)
- 行安 茂 [名誉教授]  
道徳「特別教科化」の歴史的課題：近代日本の修身教育の展開と戦後の道徳教育  
——北樹出版, 2015.7 (371.6/Y)

<鹿田分館>

片岡仁美 [医歯薬学総合研究科]

厚生労働省女性医師キャリア支援モデル普及推進事業実施報告書 平成 27 年度

——岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医療人キャリアセンターMUSCAT, 2015

(498.1/OK)

活動報告書 平成 27 年度

——岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医療人キャリアセンターMUSCAT, 2015

(498.1/OK)

岡山大学精神神経病態学教室

岡山大学精神神経病態学教室開講 120 周年記念誌

——岡山大学精神神経病態学教室, 2015.12

(377.2/OK)

岡山大学病院総合患者支援センター

岡山大学病院総合患者支援センター年報 平成 26 年度

——岡山大学病院総合患者支援センター, 2015.7

(498.1/OK)

槇野博史 [理事]

岡山の医学・学問と文化を訪ねて——槇野博史, 2016.3

(291.7/MA)

**岡山大学出版会からの寄贈図書リスト**

岡山大学入門テキスト編集委員会

岡山大学入門テキスト 2016 年度版——岡山大学出版会, 2016.2

(F377.1/O)

山本宏子 [教育学研究科]

音楽文化：祭・芸能・音楽からみた世界 改訂版——岡山大学出版会, 2016.3

(F761.1/Y)

後藤大輔 [教師教育開発センター]

基礎から学ぶ器械運動の技術——岡山大学出版会, 2016.3

(F375.4/G)

北真収, 日高優一郎 [社会文化科学研究科]

経営ケースブック：新たな市場、顧客を切り拓く——岡山大学出版会, 2016.5

(335.21/K)

遊佐 徹 [社会文化科学研究科]

表象文化における非表象化・脱表象化・再表象化の研究

——岡山大学出版会, 2016.3

(002.04/H)

## 会議

### ◆学外

- 28.3.3 平成 27 年度国立大学図書館協会中国四国地区協会事業委員会総会  
(於：広島大学中央図書館)
- 28.4.21 第 64 回中国四国地区大学図書館協議会総会  
(於：ピュアリティまきび)
- 28.4.22 第 43 回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会 (於：ピュアリティまきび)
- 28.5.9 国立大学図書館協会春季理事会  
(於：東京大学史料編纂所大会議室)
- 28.5.27 日本医学図書館協会第 87 回通常総会・分科会  
(於：アバローム紀の国)
- 28.5.27 平成 28 年度機関リポジトリ推進委員会オープンサイエンス班キックオフミーティング  
(於：国立情報学研究所)
- 28.6.9 平成 28 年度第 1 回岡山県大学図書館協議会総会  
(於：美作大学美作学園創立 100 周年記念館)
- 28.6.16 第 63 回国立大学図書館協会総会  
～17 (於：ホテルメトロポリタン仙台)
- 28.7.8 平成 28 年度第 1 回岡山県大学図書館協議会研修委員会 (於：美作大学図書館)
- 28.8.3 平成 28 年度第 2 回岡山県大学図書館協議会研修委員会 (於：ノートルダム清心女子大学附属図書館)

### ◆学内

- 28.3.11 平成 27 年度第 3 回附属図書館運営委員会
- 28.5.25 平成 28 年度第 1 回附属図書館運営委員会
- 28.7.28 平成 28 年度第 1 回附属図書館運営委員会  
資源植物科学研究所分館分科会・図書委員会
- 28.8.30 平成 28 年度第 1 回附属図書館運営委員会  
鹿田分館分科会
- 28.9.12 岡山大学出版会運営委員会

## 研修

- 平成 27 年度国立大学図書館協会中国四国地区協会助成事業ワークショップ  
参加者 大元 利彦、犬飼 恵美子 (3.2)
- メンタルヘルス クライシスマネジメント研修会  
参加者 山田 周治、甲 彰一、渡辺 典子 (3.3)
- 平成 28 年度国立大学法人岡山大学オリエンテーション及び岡山大学新任教職員研修  
参加者 森谷 めぐみ、萱野 靖子、水内 勇太 (4.5)
- 平成 28 年度国立大学法人岡山大学事務系新任職員研修  
参加者 水内 勇太 (4.13～15)
- 平成 28 年度国立大学法人岡山大学コミュニケーション研修  
参加者 岩佐 美紀 (4.13～15)
- 学術基盤オープンフォーラム 2016  
参加者 大園 隼彦 (5.26～27)
- ハラスメント相談員研修会  
参加者 大元 利彦 (6.5)
- サンメディア学術ソリューションセミナー  
参加者 大園 隼彦 (6.14)
- 平成 28 年度大学図書館職員長期研修  
参加者 大園 隼彦 (7.3～7.15)
- メンタルヘルス クライシスマネジメント研修会  
参加者 沖 陽子 (9.8)
- 平成 28 年度国立大学図書館協会中国四国地区協会助成事業ワークショップ  
参加者 羽田 まどか (9.2)
- 第 6 回大学図書館学生協働交流シンポジウム  
参加者 市地 七実子 (9.15～16)

## 編集委員から

岡山大学の「60 分授業・クォーター制導入」から約半年が経ち、学生の皆さんも新しい授業形態に慣れてきた頃でしょうか。当館の「シラバス掲載図書コーナー」は、9 月より教養教育科目授業の教科書・参考書等を配置するコーナーとなりました。ぜひご利用ください。

新学期も、図書館で皆さんをお待ちしています。(K.K.)

---

岡山大学附属図書館報「楳」 No.63 平成 28 年 10 月 1 日  
発行人 山田周治 編集 広報ワーキング  
岡山大学附属図書館発行 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目 1-1  
ホームページ URL <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/>